

平成27年度 中津市立三郷小学校 学校プラン（2学期）

学校教育目標 （児童像・学校像など）	【豊かな心と確かな学力を身につけ、たくましく生きる山国の子どもの育成】（めざす児童像）・みずからすすんで学ぶ子 ・さいごまでやりぬく子 ・ともだちとなかよくする子 （めざす学校像）・共に学び合う学校 ・活気あふれる元気な学校 ・心のふれあう楽しい学校 ・地域と共に育つ学校
------------------------------	---

本年度の重点（チャレンジ目標）				4～8月 第1回自己評価		～12月 第2回自己評価		～2月 第3回自己評価	
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	取組状況	評価・改善	取組状況	評価・改善	重点目標・達成指標の評価	
基礎基本の定着と 活用力の育成	○学期ごとのまとめのテストで、昨年度末の1段階の割合を50%減少させる。 ○中津市学力状況調査で1段階の児童の割合を30%減少させる。	○課題に対してノートに自分の考えや根拠を7割の児童が書いたり発表したりすることができる。 ○その日の授業に連動した家庭学習に取り組む。 ○活用する問題を解く。（週末の家庭学習や補充学習で）	○「課題」解決のための見通しや手だてを示し、どの児童にも考えを持たせるため、最低5分間は静かに考える時間を設定する。 ○セルフチェックで確認。 ○隣接学年で見合い・相談。校長・教頭による授業観察による助言。 ○その日に学習したことと連動した家庭学習を出す。 ○週末の家庭学習や補充学習に活用する問題を出す。	・授業での「自分の考えや説明」を書く場の設定はできている ・4・5月を中心に学習規律の徹底がはかれた。 ・スキルタイムでは学級の課題に応じてプリントを用意し実施した。	・自分の考えを持つ場を与える前に、何に注目させるのか（思考ツール、考える手立て）を教師が示すとよい。 ・読み取りに課題が見られるので、スキルタイムの取り組み内容や量についての情報交換をする必要がある。				
		○家庭学習の徹底。（各学年の課題に応じて） ○週末家庭読書の徹底	○家庭学習ががんばりカードや決意カード（高学年）で、学習開始時刻と学習時間を保護者の見えるところに掲示し、徹底を図る。	・「家庭学習ががんばりカード」は、保護者も活用し、好意的に取り組んでいる	・「家庭学習ががんばりカード」の内容に、開始時刻等を加える等の改良を加える。				
		○自己評価アンケート（児童・保護者・教職員）で「三郷小の子が先に明るくあいさつをするようになってきた」と回答した割合を90%以上にする。	○「先に明るくあいさつができる」ことを目標にして運動に取り組む。（児童会・保護者と連携） ○あいさつがよくなった子をほめる。（「先に」明るくという視点で） ○「いつでも」「どこでも」「だれにでも」先に明るくあいさつをする。	○児童会からのあいさつについての反省用紙を配り、反省をまとめる。 ○校外指導部以外の保護者が、9月から計画的に校門前に立って指導する。 ○毎週水曜日の給食時間や9月は運動会の全体練習の最後に良かった児童をほめる場を設定する。 ○2学期の生活目標に定め、教室で声かけ、帰りの会で反省をする。 ○定期的に会議で進捗状況を出し合う。	・6月の見直しにより、6年生に意識がついてきた。6月、9月から計画的に校門前に立って指導する。	・校外指導部以外の保護者が、9月から計画的に校門前に立って指導する。			
進んで運動する 子の育成	○児童アンケートで「進んで体を動かすことが好き」と回答した割合を90%以上にする。 ○児童アンケートで「休み時間によく運動場や体育館で体を動かして遊んだ」と回答した割合を90%以上にする。 ○児童アンケートで「朝ごはんを毎日食べている」と回答した割合を90%以上にする。	○授業の始まりに学年の発達段階に応じたサーキットトレーニング・長縄跳びを行う。 ○全校で「跳び箱・マット週間」を設ける。	○運動会終了後にサーキット及び長縄の取り組み内容について再度共通理解を図る場を設定する。 ○2学期に各児童のめあてを決めさせて、朝ランニングについての意識を高める。 ○運動会練習に備えて、生活リズムの見直しを行う。特に朝ごはん・睡眠・熱中症予防については保健だよりや児童朝会で呼びかける。 ○毎月第2週の生活リズムチェック表に取組。	・サーキットの具体例を作成し、共通理解することができた。 ・放送が定着しているので、全校の多数が取り組むことができています。 ・生活リズムチェック表の結果について期末PTAの学級懇談で話題にすることができた。	・担任によるサーキット体験の時間を設け、サーキット内容の見直しをする。 ・全校児童にめあてを決めさせて、児童玄関へ掲示することで意欲付けをする。 ・各学級懇談で話し合われた内容について課題が見えてきたので手だてを考えていきたい。				
				・水曜日に全校給食で「あいさつが進んでよくなった子をほめる」ことは、効果的であった。	・下校時や地域の中で、あいさつがよくなった子がいたら一緒にほめる。				
					・かなりの子どもが友だちにあいさつをしている。	・地域の人にもできるように手だてを考えたい。			

平成27年度 全国学力・学習状況調査（対象小6・中3）		
教科等	結果	特徴（○成果 ●課題）
国語A	△	○「書くこと」の正答率は93.8%で、全国正答率より+7.8P。「話すこと・聞くこと」の正答率は56.3%で、全国より+3.3P。 ●「読むこと」の正答率は48.4%で、全国正答率より-7.8P
国語B	△	○「登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する」ことの問題は、81.3%で、全国正答率より+14.7P。 ●「書くこと」の正答率は46.9%で、全国正答率より-14.2P。「読むこと」の正答率は58.3%で、全国正答率より-9.8P。
算数A	○	○「数と計算」の正答率は82.1%で、全国正答率より+2P。「量と測定」の正答率は79.2%で、全国正答率より+7.9P。 ●「図形」の正答率は60.9%で、全国正答率より-3.6P。
算数B	△	○「量と測定」の正答率は47.9%で、全国正答率より+6.2P。「図形」の正答率は49.1%で、全国正答率より+3.5P。 ●「数量関係」の正答率は31.3%で、全国正答率より-11.7P。「記述式の問題」に課題。
理科	△	○「自然事象についての知識・理解」の正答率は73.4%で、全国正答率より+4.8P。 ●「観察・実験の技能」の正答率は50%、「科学的な思考・技能」の正答率は54.2%でそれぞれ全国正答率より約-5P。
質問紙		○「将来の夢や目標を思っている」という児童が93.7%で全国と比較して多い。 ●「国語の調査問題に対する解答時間が十分でなかった」国語A基礎的問題75%・国語B活用問題56.3%、「自分にはよいところがある」56.3%という児童が全国と比較して多い。

平成27年度 大分県学力定着状況調査（対象小5・中2）		
教科等	結果	特徴（○成果 ●課題）
国語	知識	○
	活用	△
算数	知識	○
	活用	○
理科	知識	△
	活用	△
英語（中）	知識	
	活用	
質問紙		○「対人ストレス」「生活習慣」「学習習慣」「家族のささえ」は、全国を上回っている。 ●「友だちのささえ」「先生のささえ」「感動体験」は、全国値差が-5P程度

平成27年度の特徴的な教育活動	
学力面	○「自分の考えを持つ場」「発表する場」のある児童主体のわかる授業を徹底する。
生活面	○保護者・地域と連携した「先に明るくあいさつができる運動」を実施する。
体力・健康面	○進んで運動する子に向けての「遊び集会」「学級レク」の取組。「朝のかけ足」「授業開始時のサーキットトレーニング」 ○全校による「マット」「跳び箱」「大縄跳び」週間の設定。

次年度に向けた課題（重点目標設定・指標の設定 取組内容 組織力向上など）	

